

祭ばやし

ビタミン

第91号

新春号

令和3年1月1日発行

<https://iful-jikeikai.com/>

特集

白川郷が生んだ
幕末の怪力相撲力士



謹賀新年

令和3年

第91号 目次

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| ◆ 特集 白真弓肥太右衛門 2,3 | ◆ 今昔物語 第38回 7 |
| ◆ 季節行事 4,5 | ◆ 事業所紹介vol.3 居宅介護支援事業所 8 |
| ◆ デイサービス便り vol.21 6 | ◆ 地域貢献への取り組み 8 |
| ◆ 介護の豆知識 7 | |



社会福祉法人

愛知慈恵会

白川郷が生んだ幕末の怪力相撲力士

白真弓肥太右衛門

(1829~1868)

生い立ち

白真弓は文政12年(1829)頃、白川郷の木谷集落の與兵衛(東屋家)内、勇作の長男として生まれ、幼名を勇吉(後に奥右衛門)としました。嘉永6年(1853)11月場所で初土俵(東張出前頭)を踏み、慶應2年(1866)に年寄「浦風」を襲名、明治元年(1868)11月9日に現役中に死去しました。

白真弓は幼少のころから並外れて旺盛な食欲の持ち主で、大きな体格と怪力の持ち主だったとされています。8歳で自家製の硝石(火薬の原料)の俵15貫目(約56kg)を、軽々と2階まで運んだといわれています。22歳の頃高山に出て、味噌、醤油、酒を製造販売する大店「大阪屋」に

奉公します。ここでもいかなる怪力を発揮、米俵5俵を一度に担いで運ぶくらい朝飯前。彼の怪力ぶりは町中の評判だったといわれます。定かではありませんが、この高山で飛騨郡代であった父に従い少年時代を過ごしていた年下の山岡鉄舟(当時、鉄太郎)と出会い、鉄舟と親しくなると共に随行するかたちで江戸に出たとする興味深い説もあります(白真弓に関する資料はあまり残っていませんが、小説「轟く土俵」小説「白真弓肥太右衛門」にそのことがおもしろく描かれています)。

いずれにせよ郡代の父の死にともない鉄舟が江戸に戻ったのと同じ嘉永5年(1852)、勇吉は江戸に出

て、浦風林右衛門の弟子になり白真弓肥太右衛門を名乗ることとなります。白川郷出身の江戸相撲力士の誕生です。

その怪力ぶりは土俵でも見事に発揮され、とくに「突の手」が得意でしたが、そのあまりの強さのため、この手をつかうのを禁じられていたほどでした。しかし外国人と相撲をとり負けそうになったとき、行司の「突の手許す」の叫びで、相手を猛虎のように突き倒して勝ちを収めたと伝えられています。



飛騨護国神社の敷地内には、江戸時代から平成14年までの長い期間土俵がありました。

※1 飛騨郡代：飛騨国全域の幕府直轄領の民治を司る行政官であり代官である。
 ※2 山岡鉄舟：幕末の幕臣で勝海舟・高橋泥舟と共に江戸を戦火より救った「三舟」と称される。



怪力エピソード

(肥太右衛門のことが凄い)
 白真弓の怪力ぶりのエピソードで一番名高いのは当時の「黒船」騒動にまつわるものでしょう。安政元年(1854)、ペリー来航の折、米を米艦に運ぶにあたって何人かの相撲力士が奉仕することになりましたが、白真弓は背に4俵、胸に2俵、両手に1俵ずつ計8俵(当時1俵に5斗、およそ計600kg)を一度に運んだそうです。びっくりしたアメリカ人がどうしてそんな力があるのか彼に訊ねると、白真弓は「日本人はうまい米を食べ、米からつくったうまい酒を飲むからだ」と答えたといわれます。



身長は6尺8寸5分(約208cm)、体重40貫(約150kg)

並外れた怪力と大きな体 凛々しい姿が魅力

白真弓肥太右衛門を描かれた方



ひがしやただし 東屋忠雄様 昭和13年2月6日生まれ 白真弓肥太右衛門とはかなり前のご先祖にあたるため、つながりなどはわからないとのこと。現在、ご夫婦でしゃくなげ荘のデイサービスセンターをご利用されています。

▶白川郷平瀬温泉「白弓スキー場」に隣接する「森の食彩館 白真弓」には、伝説となった白真弓肥太右衛門の大きな体を物語る原寸大の手形が飾られています。



四股名変遷

- 燧洋 荒五郎(ひうちなだ あらごろう) 1858年11月場所-1861年2月場所
- 駒ヶ嶽 峰五郎(こまがたけ みねごろう) 1861年10月場所-1862年3月場所初日
- 白真弓 峰五郎(しらまゆみ みねごろう) 1862年3月場所2日目-千秋楽
- 白真弓 肥太右エ門(しらまゆみ ひたえもん) 1862年11月場所-1866年3月場所
- 浦風 林右エ門(うらかぜ りんえもん) 1866年11月場所-1868年11月場所

白真弓伝説を継承

白真弓の長編小説

書籍「轟く土俵」
 もりたなるお著作
 初版発行1997年2月28日

白真弓の数奇な生涯と相撲の世界と黒船来航によって騒然とする世相を背景に描く長編小説

白弓スキー場

初心者から上級者まで幅広く親しまれている白川郷平瀬温泉の「白弓スキー場」。この名前は一般からの応募によってつけられたものですが、「白真弓肥太右衛門」に由来しています。



白真弓肥太右衛門の絵がラベルのミニ樽が販売されています。

蒲酒造場

宝永元年(1704年)初代・登安が創業した蔵元。「白真弓」は蔵元の顔として数々の品評会で受賞。「利は貪るべからず頂くべし」を家訓とし、社会貢献を大切な使命としながら伝統の酒造りを守り続けています。

住所：飛騨市古川町巻之町6-6 TEL：0577-73-3333



「もっとあなたのそばに白真弓」
 13代目当主 蒲敦子様



季節行事

安城 小川屋 食欲の秋! ピザ会

10月9日(金)ケアハウスでピザ会を行いました。事前にメニューを張り出し、好きなピザをファミリーに投票していただき、票のあったピザをお店から購入してきました。ピザが冷めないようにホットプレートで温めながら提供しました。アツアツのピザを皆さん美味しく召し上がりました。



南信州 ねばねの星 敬老会

例年、村内の高齢者77歳以上(喜寿)の方々がしゃくなげに集まり食事会を行っていましたが、今年はコロナ禍の影響で村長が訪問下さり、ファミリーお一人おひとりにお祝いの品を手渡してくださいました。皆さんご満悦の一日でした。



西御堂の星 三笠 銘菓で味わう

年に数回お茶会を開催していますが、今回はお月見に合わせ、お抹茶とお菓子を楽しんでいただきました。今回はこだわりのお茶碗と全国の銘菓を選んでもらい、見た目と味を堪能しました。「花より団子」と言いながら、とても良い笑顔がみられました。



善のかけり 田苑春風 さつまいもの収穫

11月5日(木)毎年、恒例行事となったさつまいもの収穫を行いました。地域のボランティア様にご協力いただき、おいしく育ったさつまいも。収穫後は天日干しを行うことで甘みを増すことができます。11月29日(日)には焼き芋会を行い、秋の味覚を楽しみました。



新ひこね 田苑そよ風 異国の地で頑張っています

今年の春からベトナムの技能実習生が入社しました。認知症を患われているファミリーと日本語での会話は心配がりましたが、毎日積極的に明るくファミリーと会話をし、今では他のスタッフよりも名前を呼ばれるくらい親しまれ、ファミリーも優しく接していただき、一緒に食事作りなどして楽しく過ごしています。



瀬音 さくら山荘 祝☆敬老

今年のプレゼントは布草履です。村内にお住いの方の手作りで、一つとして同じものはありません。お渡しの仕方にひと工夫♪野菜の名前でビンゴ大会を行い、ビンゴになった方からプレゼントさせていただきました。懐かしい昔作ったなどお話されるなど、とても和やかな会になりました。



ひだまりの詩 新和楽荘 ~文化祭~

11月3日(火)文化祭が行われました。午前中は写真販売とファミリー作成の編み物や洋服などの展示会、午後は喫茶を行い、毎年恒例の鬼まんじゅうを召しあがっていただきました。「文化祭は鬼まんじゅうが楽しみ」と毎年楽しみにされている方もいらっしゃいます。



風の苑 マゲノリヤ おでんの中に玉子焼き~?

11月8日(日)おでんパーティーを行いました。おでんの中には、なんと玉子焼きが入っており、これが好評でファミリーから「おいしい!ゆで卵じゃなくてもおいしいね」との声が上がりました。前日から仕込んだ大根も美味しく出来ました。



ライフガーデン 秋の里 スイートポテト作り

ショートステイでは、毎月1回おやつレクリエーションを行っています。10月8日(木)にさつまいもを使ってスイートポテト作り、ファミリーに季節を感じていただきました。新型コロナウイルス感染予防対策をしながらでしたが、さつまいもが好きなファミリーが多く、たくさんの笑顔を見ることができました。



あふり 秋のお茶会

10月の第3週は秋のお茶会を開催しました。10月21日(水)、23日(金)に各階で実施しました。今回も著名な茶器を使用させていただきました。ご自分で茶器を選んでいただきスタッフが抹茶をたてました。季節の和菓子を召し上がりながら日常とは違った雰囲気を楽しまれました。



自宅でできる転倒予防 ～ 環境編 ～

高齢者の転倒は半数以上が屋内で発生し、その約70%が居間で起きています。今回は自宅内の環境について確認します。

- 通り道に電化製品などのコードがありませんか？
 - ▶ コードに引っ掛かることがあります。コードをまたがないように位置を検討しましょう。
- 絨毯やマットがずれたりめくれたりしていませんか？
 - ▶ 床の材質が変わる場所は転倒が起きやすいです。滑らないようにすべり止めマットを下に敷いたりしましょう。畳の縁でつまずくこともあるため、踏まないようにしましょう。
- 通路に物があり、幅が狭くなっていませんか？
 - ▶ 物の収納場所を検討し、幅を確保しましょう。
- 通り道に窓からの自然光が入っていませんか？
 - ▶ 光の加減で段差や物が見えにくいことがあります。カーテンなどで光量を調節しましょう。
- 室内履きは安全な物ですか？
 - ▶ スリッパはつま先が上がらず、すり足傾向になるため、かかとのついたルームシューズがおすすめです。また、地厚のルームソックスは中で足がずれて転倒や捻挫する可能性があります。移動時はすべり止めのついた靴下がよいでしょう。



今昔物語 第38回

ここでは、「今昔物語」と題し、ファミリーの歩まれた様々な人生にスポットを当て、若かりし頃の思い出や、現在の生活を語っていただきます。

今回は[大黒・恵比須] ご利用者 柴田文子さんにお話を伺いました。



柴田文子さんは、昭和20年11月17日生まれの現在74歳です。愛知県の名古屋市瑞穂区で、7人兄弟の末っ子としてお生まれになりました。幼い頃から兄・姉に面倒をみてもらいながら育ったそうです。一番上のご兄弟とは、19歳離れていらっしゃるとお話くださいました。「おうちが貧乏だったから、たくさん内職をした。」と苦勞を語ってくださいました。

小学校・中学校と卒業され、中学卒業後から、さまざまな仕事をされたそうです。お仕事をされながら27歳の時に結婚されました。旦那様とは、ミシン工場に働いている時に声をかけられ、お見合いをされ結婚されたそうです。旦那様はお菓子屋さんと、工場にアイスクリームの販売に来ていたそうです。28歳の時に第1子(長女)、30歳の時に第2子(次女)が誕生されました。おひとり流産したとお話され、「本当に悲しかった。」とさみしそうにおっしゃって見えました。

40代の頃に、安城市へお引越しされ、現在はおひとり住まわれています。お仕事は、66歳になるまで続けてみえたそうです。「おすしや惣菜をずっと手作りで作っていた！」と笑顔でお話くださいました。旦那様は、7年前に肺炎でお亡くなりになられたそうです。認知症を患われ、食事がとれなくなり、長く入院生活を送って見えたそうです。大好きな旦那様に会い

に、よく面会に行かれていたとのことでした。「看護師さんには感謝しなかったよ。」と話されて見えました。現在は、いろんなご病気を抱えながらも「今が一番幸せ！」と笑顔で語ってくださいました。様々な仕事をされ、たくさんの苦勞を乗り越えてみえた、文子様だからこそ今が一番幸せと感じるのだと思いました。「大黒・恵比須に出会って、生活がより充実し楽しみが増えた。」とご病気を乗り越え、日々を楽しんでいらっしゃいます。これからも幸せな毎日を送っていただけるよう、全力で支援させていただきます。



南佐賀の里 午後の活動はリズム体操から

今月は「上を向いて歩こう」の歌に合わせて行いました。ちょっと難しい振り付けも、スタッフのギター伴奏に合わせて、皆さん元気に楽しく体を動かすことができています。季節に合わせて秋は「北風小僧の寒太郎」、冬は「ジングルベル」と曲目を変えています。眼下に広がる自然とともに四季を体いっぱい感じています。



あいがいっぱい 天高く、今日は焼肉で肥ゆる秋



10月27日(火)は晴れ空のもと中庭で炭火を使って、バーベキューをしました。食欲を湧き立てる匂いが広がり、皆さんの食が順調に進んでいく光景は、見ている自分達も食欲を感じずにはいられなかったです。気分転換もでき、食もすすみ楽しいひとときでした。

南佐賀の里 お腹も笑顔もいーっぱい

昔はどこ家庭でも作ったおはぎ。初めての取り組みにワクワクしながら挑戦してみました。炊き立てご飯にあんこときなこで包んで、少し大きめでしたが美味しく出来上がりました。懐かしい昔話に花が咲き、お腹も心も大満足。やっぱり甘い物は別腹ですね。



こはるびより 今年の運動会も大盛り上がり



10月21日(水)、10月22日(木)、デイホールで運動会が開催されました。紅白2チームが球渡し、玉入れなどで白熱した戦いでした。気付いたらついつい熱くなりすぎてしまう事も…。勝負が終わった後は、両チームとも互いの健闘を称え合い、ハプニングあり、笑顔いっぱいの楽しい運動会でした。

ライフガーデン 秋の里 自作のマスクケース

コロナ禍で何か楽しめるレクリエーションはないかと考え、マスク紛失防止のためのマイマスクケースを作ることにしました。市販の抗菌シートを使用しケース状にし、ケースの裏表にシールや絵を書くなどして楽しく作りました。「これならのーならんわ」と皆さんに好評です。



西御堂の里 三笠

思い出がたくさん詰まった我が家。たくさんの経験を積み、人生の先輩となるご利用者が、そんな我が家で笑顔あふれる暮らしに繋がるよう、寄り添える支援を心掛けています。又、介護されているご家族の心の支えになりたいと思っています。近隣には、大きな団地があるので、高齢者の方が何か困った事があれば、気軽に相談でき、地域に根付く関係作りを目指しています。

TEL 0586-67-2430



ご利用者、ご家族の望むことや、生活のお手伝いをするために、安心して相談していただけるような身近な窓口です。4人の主任ケアマネジャーがそれぞれの経験を活かしながら協力し、迅速かつ丁寧な対応ができるよう心掛けています。自法人はもちろん他のサービス事業所とも連携を図りながら一人ひとりのお気持ちや身体の状態に目を向け、意思を尊重し、自立した生活を続けていただけるように日々励んでいます。

TEL 0586-68-7311

ライフガーデン 秋の里



法人の地域貢献への取り組み

令和2年度 愛知県社会福祉協議会の地域公益取組助成事業に法人で取り組んだ大和町氏永地区買い物支援の活動内容が審査の上、選考され助成金が交付されることとなりました。12月9日愛知県社会福祉協議会主催の地域共生社会推進セミナー（アイリス愛知）で活動内容の発表を行いました。



編集後記

今回の取材を通じ、昭和の名勝負の横綱北の富士と関脇貴乃花の一番を思い出しました。外掛けに弓反りとなった貴乃花が左にうちやるような投げ、北の富士の右手が先に土俵につき、立行司は「つき手」と見て軍配は貴乃花。しかし物言いがつき、「かばい手」とみなされ行事差し違いで勝利は北の富士となりました。名勝負が語り継がれるように白川郷では白真弓肥太右衛門が酒造メーカーやスキー場の名前として語り継がれ村民の方々とともに歩んでいると思わずにはいられませんでした。



祭ばやし 編集長 O.S

施設毎の詳細情報やイベント情報・研修実施状況を随時更新中です。皆様、是非ご覧ください!!

<https://iful-jikeikai.com/>

ご利用者もスタッフも笑顔あふれる空間をつくり続けたい 社会福祉法人 愛知慈恵会

あいふるの里 〒491-0115 一宮市浅井町西海戸字余院寺45-1 TEL 0586-78-8441 FAX 0586-78-8485	横丁のデイサービスセンター 産・柿ノ木 〒491-0115 一宮市浅井町西海戸字小山65-1 TEL 0586-78-2171 FAX 0586-78-2172	看護小規模多機能型居宅介護事業所 かんたき 白鶴倶楽部 〒491-0112 一宮市浅井町東浅井森下105-1 TEL 0586-52-3660 FAX 0586-52-3661	訪問看護ステーション 愛恵訪問看護ステーション 〒491-0112 一宮市浅井町東浅井森下105-1 TEL 0586-85-8388 FAX 0586-85-8391		
ライフガーデン 秋の里 〒491-0363 一宮市萩原町東宮重字蓮原36-1 TEL 0586-68-7311 FAX 0586-68-5826	遊び・遊び・喜び 田苑そよ風 〒491-0363 一宮市萩原町東宮重字蓮原24-1 TEL 0586-67-2611 FAX 0586-68-5799	風の苑 マゲノリア 〒491-0051 一宮市今伊勢町馬寄字東瀬古55番地1 TEL 0586-47-6811 FAX 0586-47-6812	ひだまりの詩 新和楽荘 〒491-0363 一宮市萩原町東宮重字蓮原24-1 TEL 0586-67-2311 FAX 0586-68-7337	西御堂の里 三笠 〒491-0365 一宮市萩原町西御堂字虫祭1-1 TEL 0586-67-2430 FAX 0586-69-6491	南信州 ねばねの里 なごみ 〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村3015-362 TEL 0265-49-2022 FAX 0265-49-2023
こはるびより 〒444-1162 安城市小川町三ツ塚1-1 TEL 0566-73-7011 FAX 0566-73-7010	春のかほり 田苑春風 〒444-1162 安城市小川町三ツ塚1-1 TEL 0566-99-6514 FAX 0566-99-6524	あかねぞら 丸黒・恵比須 〒444-1213 安城市東端町山ノ神115-1 TEL 0566-48-8111 FAX 0566-48-8110	白川郷 日本一小さな特養 瀬音 さくら山荘 〒501-5503 岐阜県大野郡白川村大字長瀬755-1 TEL 05769-5-2141 FAX 05769-5-2170	デイサービスセンター(管理運営委託) しやくなげ荘 〒501-5503 岐阜県大野郡白川村大字長瀬字小保木755-14 TEL 05769-5-2217 FAX 05769-5-2269	SINCE1989 法人本部事務所 〒491-0365 一宮市萩原町西御堂字虫祭1-1 TEL 0586-69-4811 FAX 0586-69-4812



愛知県ファミリー・フレンドリー企業

社会福祉法人 愛知慈恵会
 高齢者福祉施設 新和楽荘
 養護老人ホーム 新和楽荘
 一宮市萩原町東宮重字蓮原24-1
 〒491-0363 TEL 0586-67-2311

スタッフ募集中

只今スタッフを募集しております!!

- お問い合わせ
- あいふるの里 TEL: 0586-78-8441 (総務)
- 瀬音さくら山荘 TEL: 05769-5-2141 (総務)
- 秋の里 TEL: 0586-68-7311 (総務)
- 風の苑 マゲノリア TEL: 0586-47-6811 (総務)
- 小川の里 TEL: 0566-73-7011 (総務)
- ねばねの里「なごみ」 TEL: 0265-49-2022 (総務)
- 新和楽荘 TEL: 0586-67-2311 (総務)
- 西御堂の里 三笠 TEL: 0586-67-2430 (総務)

介護スタッフ
 看護スタッフ
 ホームヘルパー
 夜勤スタッフ



詳しくはホームページ

愛知慈恵会 検索 GO!!

<https://iful-jikeikai.com/>